

栃木県下水道場 ～マロニエ下水道ネットワーク～

≪目的≫

栃木県下水道場は事業課題の講義や参加者同士が情報や意見の交換を行うことで、県、市町という縦関係から市町間や県とのつながりを強化し、職員数減少時代を県と市町が連携して乗り越えるため、平成26年9月に設立した。

＜平成26年度の活動＞

講義&3部会討議&現場研修

※3部会（「計画～施工」、「維持管理」、「経営・企画」）

第1回 国土交通省、新技術機構の講義と部会毎の討議

第2回 事業団の講義、施設視察及び部会毎の討議

第3回 まとめの発表と協力頂いた国関係の方の講評



栃木県の下水道マスコット
トイレットマン

＜平成27年度の活動＞

講義&3部会討議

第1回 県外元自治体職員、新技術機構の講義と部会毎の討議

※年3回実施予定であったが、関東東北豪雨対応により実施することができなかった。

＜平成28年度の活動＞

講義&意見交換会（内容は事前アンケートを実施し市町の要望が多かった案件を取り上げた）

講義内容「下水処理場の維持管理について」

＜平成29年度の活動＞

講義&意見交換

- ・講義内容「下水道事業におけるストックマネジメントについて」
- ・意見交換「ストックマネジメントに関する意見交換」

＜平成30年度の活動＞

平成31年3月1日開催

講義&意見交換

4月に行われる会計検査について注意事項を行った。また、下水道工事・維持管理についての安全管理について今年度より施行された通信簿を基に講義を行い、各市町で抱える懸案事項等について意見交換の場を設けた。

- ・講義内容「会検における注意事項」

H31.4月に行われる会計検査における注意事項について過去の受検状況や他県情報を基に講義をおこなった。

- ・「安全対策通信簿について」
- ・意見交換「下水道工事・維持管理の安全管理に関する意見交換」

近年全国的に工事事故が多発していることを受け、安全意識の向上のため、通信簿の項目を解説した。また、個々で抱える懸案事項についてグループ単位に分けて意見交換をおこなった。

勉強会後アンケートの結果より概ね好評だった。

平成 30 年度 開催状況 写真

